

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	脱臼実技（上肢）	
科目基礎情報							
開設学科	柔道整復科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実技			
教科書/教材	柔道整復学 理論編（改定第6版） 柔道整復学 実技編（改定第2版）						
担当教員情報							
担当教員	本澤 光則			実務経験の有無・職種	有・柔道整復師		
学習目的							
各脱臼の整復・固定が出来る様になるのが目的である。そのため定義と概説、様々な分類や、症状、合併症、整復障害因子および経過と予後を総論として学び脱臼総論を理解する。また、具体的な整復・固定方法を実践できるようにする。前期で学んだ顎関節脱臼、肩鎖関節脱臼・胸鎖関節脱臼、肩関節脱臼、肘関節脱臼の定義・概説、分類および治療法（整復・固定・後療法）は必須であり、実技を行うためには欠かせない。副損傷をなくすために、具体的な整復方法を実践し注意点を理解する。							
到達目標							
3年生時に実施される認定実技審査にて定義や分類合併症などは重要であるため必ず習得することが重要である。基礎的な学習から臨床的で実技になるので戸惑う事もあるとおもわれるが、臨床に出る準備であり重要である。すべての学びは整復をよりよく行うための必要な技術であり、そのために各関節の解剖学的特性を理解し、構成する骨の理解も重要となる。愛護的な整復を目指すように、理論的な事だけでなく実践できる事が肝要である。							
教育方法等							
授業概要	顎関節、肩鎖関節、胸鎖関節、肩関節、肘関節治療法（整復・固定・後療法）を具体的に学び実践する。						
	実習時は白衣着用で身なりなどを整える。支給されている包帯などを携帯する。実技では事故に注意して行うが体調（皮膚状況）などが悪い時は事前に申し出る事						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	試験・課題等を総合的に評価する				
	成果発表 （口頭・実技）	30%	実技内容について評価する				
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	脱臼実技①顎関節脱臼			顎関節脱臼の整復方法を理解し実践できるようにする			
2回	脱臼実技②顎関節脱臼			顎関節脱臼の固定法、後療法を理解し実践できるようにする			
3回	脱臼実技③胸鎖関節脱臼			胸鎖関節脱臼の整復方法をし実践できるようにする			
4回	脱臼実技④胸鎖関節脱臼			胸鎖関節脱臼の固定法、後療法を理解し実践できるようにする			
5回	脱臼実技⑤肩鎖関節脱臼			肩鎖関節脱臼の整復方法を理解し実践できるようにする			
6回	脱臼実技⑥肩鎖関節脱臼			肩鎖関節脱臼の固定法、後療法を理解し実践できるようにする			
7回	脱臼実技⑦肩関節脱臼			肩関節脱臼の整復方法（コッヘル法）を理解し実践できるようにする			
8回	振り返り			1～7回までの知識を確認する。			
9回	脱臼実技⑧肩関節脱臼			肩関節脱臼の整復方法（コッヘル法以外）を理解し実践できるようにする			
10回	脱臼実技⑨肩関節脱臼			肩関節脱臼の後療法などを理解し実践できるようにする			
11回	脱臼実技⑩肩関節脱臼			肩関節脱臼の治療法（特に固定）を理解し実践できるようにする			
12回	脱臼実技⑪肘関節脱臼			肘関節脱臼の整復方法を理解し実践できるようにする			
13回	脱臼実技⑫肩関節脱臼			肘関節脱臼の整復方法を理解し実践できるようにする			
14回	振り返り			9～13回までの知識を確認する			
15回	まとめ			前記の知識をまとめ確認する。			